

ソフトバンクの情報モラル学習サポート

ソフトバンクは、未来を担う子どもたちがインターネットやスマホを安心・安全に利用できる環境を皆さまと共につくってまいります。

ソフトバンクの情報モラル授業の特徴

① 身近な方が指導員に

学校などの教育現場で、先生方や保護者、地域の青少年相談員の方などが授業・講座を進行できる教材を提供



② ディスカッションが中心

ディスカッションをメインとした内容になっているため子どもたちの自発的な考えを促進



③ 気づきを促す教材

インターネットやスマホのトラブルは、道具より「心の問題である」ことの気づきを促す教材を提供



無償配布中!

教材のご紹介

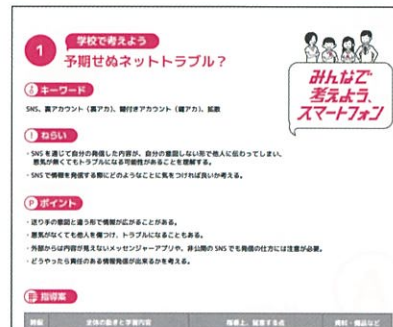
映像教材 (配送)



研修資料 (ダウンロード)



指導案 (ダウンロード)



映像教材の内容

第1話

予期せぬネットトラブル

ネットにつぶやくアプリの「裏アカ」にクラスメイトの恋バナを投稿。限られた人しか見られないはずなのに、スクリーンショットされて...



第2話

動画配信の罠

有名な動画配信者目指して「りょーじチャンネル」を開設。動画の再生回数は伸びたものの、コメント欄には非難が殺到し...



第3話

スマホトラブル、うちの子だけは大丈夫?

念願のスマホデビュー。子どもからの意見で、両親はフィルタリングを外してしまう。そうしてスマホを使い始めたが...



京都市教育委員会での活用事例



Q 京都市では「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン※」の教材を活用して、どのように授業を進めていますか？



統括首席社会教育主事
稲葉 弘和 先生

A

対象は中学生で、授業は基本的に担任の先生が進行します。情報機器やSNSに関する知識、トラブル事例などの解説は、一定の研修を受けた情報モラル市民インストラクター（元PTA役員の方が多く）が担当します。



教室での話し合いを経ているため、生徒たちは問題意識を持ちながら解説を聞いてくれるようになりました。また、話し合われた内容が、学級通信や個人懇談会などの場を通じて保護者などに周知されます。



Q 「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン」を活用した授業の感想をお聞かせください。

A

単なる知識注入型の授業では、子どもたちは聞き流してしまいがちです。「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン」を使った授業では、**問題解決の方法を、子どもたち自ら考えて、みんなで共有**できます。

映像教材の事例も、日常のスマホ利用の中でやってしまいがちな行動が題材のため、子どもたちが自分事として考えやすいですね。先生方にとっても、子どもたちが主体的に話し合う授業形態の体験が、**対話しながら学習することの意義**を感じ取る良い経験になると思います。

※みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン：みんなで考えよう、スマートフォンの前身となる教材で2018年2月末まで展開

教師・地域リーダー向け模擬授業



学校での教師向け指導やPTAの地域リーダー育成を目的に模擬授業も承ります。教材、模擬授業のお申込み、お問い合わせは以下をご覧ください。

※本活動は「NPO法人企業教育研究会」と共同で実施しています。

 <https://ace-npo.org/wp/archives/project>

 kangaeyou-keitai@ace-npo.org  043-308-7229



ソフトバンクの安心・安全に向けた取り組みは以下をご覧ください。
<https://www.softbank.jp/corp/csr/responsibility/safety/>

 **社会貢献**
Corporate Social Responsibility